

## 旧五泉市の紹介



【上空から見た五泉市】

五泉市は、新潟県のほぼ中央東側に位置し、阿賀野川と早出川が形成する扇状地に発展しました。三方を山岳におおわれ北部に開けたその一帯は越後平野の一面をなす平坦部で、県都新潟市まで約 25km、隣接新津市まで約 10km に位置しています。

昭和 29 年 11 月に 1 町 3 村が合併し市制施行、その後隣接する 3 村の一部を編入して今日に至っており、面積 98.80km<sup>2</sup> の広さを擁しています。

古い伝統と歴史を持つ織物工業と、戦後めざましい発展をとげたニット工業は、全国的にも有名な生産地としての地位を占めるに至り、豊かな田園地帯から米作はもとより、里芋・れんこん・いちご・キウイフルーツなど特産物を出荷する食糧生産地でもあります。

また五泉市唯一の温泉地「咲花温泉」は、阿賀野川沿いにあり、豊富な湯量と透明度の高い温泉質で人気を博しており、年間を通して大勢の方から利用されています。

### 概要

人口	38,306 人 (平成 12 年国勢調査)
世帯数	10,868 世帯
面積	98.80km <sup>2</sup>

### 市章



「五」の字を「泉」という文字で囲み、円状の字は円満な行政を象徴し、上部のとがり発展を表したものです。(昭和 59 年 11 月制定)

### 市民憲章

わたしたちは、みんなで「栄えゆく わが泉の里 五泉市」をこんなまちにつくりましょう。

- 水と緑が豊かな 美しいまち
- 「きなせや」の心が通う あたたかいまち
- 文化の輪が広がる 潤いのあるまち
- スポーツが楽しめる 明るいまち
- 産業が盛んな 活気のあるまち

(昭和 59 年 11 月制定)

## 市の木

いちょう

## 五泉の由来

「ごせん」や「ごせんし」というフレーズで、なにを思い浮かべますか？

数字の5000？ 楽譜の五線紙？ パソコンで変換しても、「互選」、「五千」などなど様々な文字がでできます。我がまち「ごせん」は、五つの泉と書いて「五泉」です。

その昔「5つの泉が湧き出ていたから」「5つの川が流れていたから」などなど様々な説が言い伝えられていますが、はっきりしたことはわかりません。

しかし、その名の通り豊かな水に育まれた大地は、農作物、繊維産業、そして五泉の人々を今なお潤しています。

『五泉市史 資料編4 近・現代1』によると、年代不詳の『五泉町町是調査書』に次のようなことが書かれているようです。

～白川風土記より～

【1】五条の川が流れていたところから。

【2】五泉市内に『今泉』という地名が現在もあるが、これは『前泉』が訛ったもので、これに対する『後泉』より『五泉』になったもの。

～北国太平記より～

【3】『期仙』との記述があったところから。

～老人から伝え聞くところより～

【4】むかし『五泉数馬』という人がいて、永徳2年(西暦1382年)に城堡を築き住んだことから。